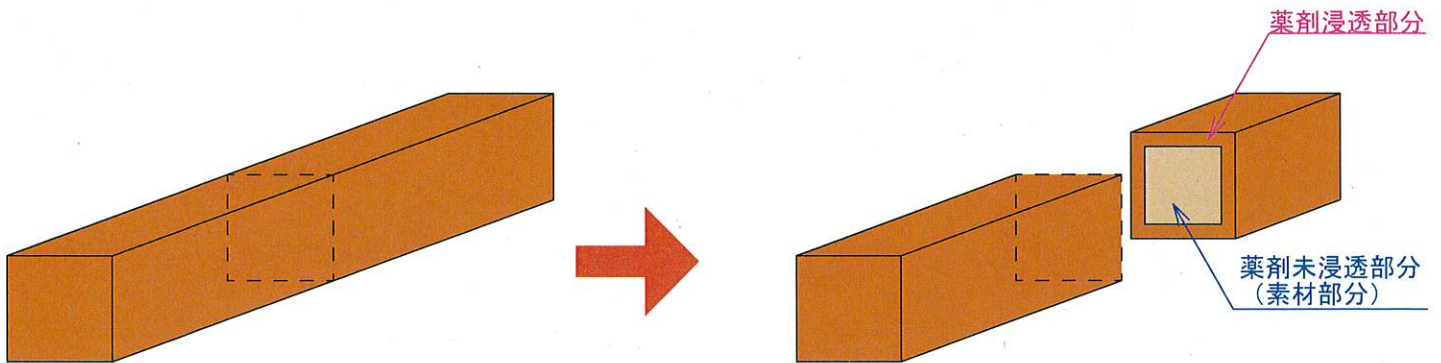


防腐防蟻処理木材の加工に関する注意事項

防腐防蟻処理は腐朽菌や虫、シロアリによる木材の品質低下を避けるために行われます。その為、処理後の加工は行わない事を推奨します。



防腐防蟻処理の効力のある部分

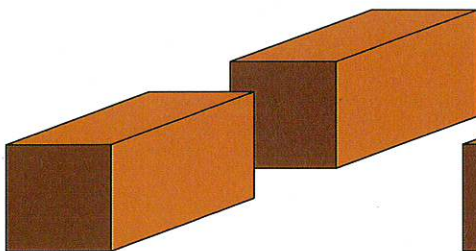
保存処理を行った内部には薬剤の浸透していない部分があります

加工の仕方によっては防腐防蟻処理木材の耐用年数を短縮してしまう恐れがあります。

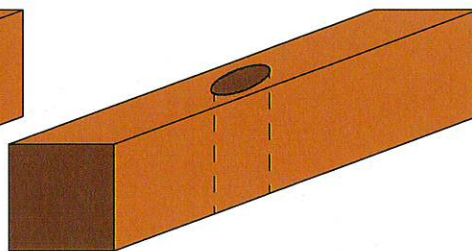
従って万が一、下記加工を行う場合は加工部分を必ず **日本木材保存協会又は日本しろあり対策協会が認定する木材防腐、防蟻剤（油溶性）を確実に塗布してください。**
※塗布部の写真を添付してください。

防腐防蟻処理木材による表面処理が必要な加工例

① カット加工



② ボルト穴加工



③ ホゾ穴加工

